



スピリット

常中魂

平成27年12月1日 NO・83

〒311-1114 水戸市塩崎町1016
TEL029-269-2116 FAX029-269-3160
Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp

【ホームページで、カラー版が見られます】

体を動かすことから学ぶ

早朝の掃き掃除

朝、夕はめっきり寒くなりました。身の回りの木々は、葉を落とし、落ち葉が道に大量に積もり、登下校に使わせていただいているプール前の通路も通りづらくなっていました。そんなある日の早朝のことです。登校してきた生徒のうち何人かが、ほうきをもって通路清掃のボランティアを始めました。二本ある手のうちのどちらかは、人のために使う。このような行動が、何気なくできるといふところが「かっこいい」と感じられます。校庭に目を移すと、ソフトボール部の生徒たちが、自分たちが部活で使う校庭の掃き掃除をしています。学びの場は教室の中だけでなく、こういう所にもあるのですね。常澄中学校の、ある朝の、何気ない風景です。



早朝、教頭先生と共に落ち葉を掃く生徒

職場体験から学んだこと

海浜公園での職場体験を終えて

2年2組 高柳花音

お客様に喜んでいただける工夫やサービスがたくさんあり、常に笑顔で元気よく接することがとても良かったです。

わからないところも、丁寧に教えてくださって、すごく嬉しかったです。私が一番「大変だなあ」と思ったことは、バラの「裁植」です。

「裁植」とは、もう咲き終わってしまったバラを一つ一つ切っていく、新しい花を咲かせるという工夫です。一つ一つチェックしながら多くの花を切っていくので、とても大変でした。でもまた新たなきれいな花が咲くと思うと、すごく嬉しかったし、楽しかったです。

バラの名前、また由来など教えていただいてバラのことをよく知る機会になりました。二日間、とても有意義な時間を過ごせました。

ほのぼの@タウン

※タウンリポーターのコーナー

常澄地区区伝大会
小学生・たまきつなぐ
小中生

■水戸 あせ道を駆け抜ける「第1回常澄地区区伝大会」が11月、塩崎町内で開かれた。大野、稲荷一、稲荷二、大野の4小学校と常澄中学校の5校が参加。中学生は出身小学校のチームに加え、学校の誇りを胸にたすきを背負った。

拍道には児童・生徒や保護者、地域の人が駆けつけ「頑張れ」「応援や拍手を送った。栄えある初代優勝は、男女ともに稲荷二小が飾った。アンカーを務めた長野誠吾(6年)は「トップでたすきを受け取ったときから、このまごころしたいと心の中で叫びながら走りまわった」と誇れ晴れとした表情だった。(飛田せつ子)



27日(金)の読売新聞地方版「ほのぼの@タウン」に、常澄地区区伝大会の記事が掲載されました。ぜひご覧下さい。